



茶葉一ズ(ちゃば一ず)の皆様と交流しました。(1, 3~5年生)

9月10日(火)2限目に1年生、3限目に3,4年生、9月19日(木)3限目に5年生が、視聴覚室で茶葉一ズの皆様と水沢地区地域マネージャー様から水沢音頭の踊りを教えてもらいました。1年生は初めての出会いだったので、一人ひとりが自分の名前を茶葉一ズの皆様へ伝えました。好きなもの、好きなことを付け足して話している子もいました。茶葉一ズの皆様からも、子どもたちの言葉を受け自己紹介をしていただきました。

「みんなと一緒にネコを飼っています」「朝、あいさつしてくれるからうれしいです」等のお言葉を返していただきました。3~5年生は、昨年度に引き続いての水沢音頭の踊りだったので、スムーズに体を動かしている子もいました。茶葉一ズの皆様を知っている子もたくさんいて、子どもたちは個々に声をかけていました。

茶葉一ズの皆様からは、「久しぶりに子どもたちと会って、元気をもらいました」というお言葉をいただきました。子どもたちが地域の皆様との関わりを通し、人の

ぬくもり、人と人が関わることの心地良さなど、何かを感じ取ってくれればと思います。2,6年生でも、学年練習や全体練習を通じ、10月12日(土)の運動会に向け、茶葉一ズの皆様との交流の時間をつくっていきます。



三重茶農業協同組合を訪問しました。(3年生)

9月17日(火)1,2限目に、3年生は三重茶農協を訪問しました。水沢地区は、現在2000haの土地があり、そのうち500haが茶園なのだそうです。気温、降水量、地質(水はけが良い)、朝と夜の寒暖差がお茶の生育に適していて、茶園の上7~8mをぐるぐる回っている扇風機のようなものは、「防霜ファン」といって、茶園を守るために上の温かい空気を下へと送っています。この時期は、お茶の収穫の最後、秋ばん茶のシーズンだそうで、シーズンが終わると、茶園に肥料を入れ、次の収穫に向けて茶園を保っていくのだそうです。

三重茶農協は、お茶の販売、加工、保管を担っていて、現在倉庫には30kgの1包が、約6万9千包も保管されています。子どもたちは実際に1包を持たせてもらいましたが、なかなか持ち上げられる子はいませんでした。お茶の包が保管されている倉庫にも入らせてもらいましたが、倉庫の中は2℃から3℃に保たれていて、最初、中に入れてもらったときは、ひんやりとして涼しく、気持ちよく感じたのですが、少し時間が経つと、服装が半そでシャツだったこともあってか、みんな寒そうにしていました。帰るときには、めったに入ることのできない別の倉庫の中も歩かせてもらい、いい経験をすることができました。お世話になった三重茶農協の職員の皆様、ありがとうございました。



稲刈り体験をしました。(5年生)

学習活動指導員の方が所有している田んぼをお借りし、5月10日(金)に稲の苗を植えました。稲刈りまでの約4か月間、幸いにも台風の直撃がなく、夏場は日照時間も長くあったことから、稲がすくすくと生長し、立派な稲穂が実りました。

これまでの間、地域学習活動指導員の方には除草作業や害獣対策、落水等で、大変ご苦勞をおかけしました。9月19日(木)の午後、子どもたちが稲刈りと稲穂の脱穀作業を体験しました。一人ひとりが鎌(かま)を使って稲を刈り、3束ぐらい揃ったところで稲の株のもとをそろえて縛り、もみを取り分けるために脱穀機にかけていきました。現在は機械化が進んでいるので、コンバインを使って稲刈りが行われている様子を見たことがある子は多いようですが、自分で鎌を使って稲を刈ったり、足ふみ脱穀機を使って脱穀したりするのは初めてで、貴重な体験になりました。

脱穀後、学校に米袋を持ち帰り、現在、管理棟の3階廊下にシートを広げ乾かしています。この後、引き続き、学習活動指導員の方にお世話になり、乾燥したもみのもみすりをし、口に入れることのできるお米になっていきます。乾かしたわらはは、文化祭時の授業参観で、2年生がわら細工作りに使用する予定です。(文責 北住 昌文)

